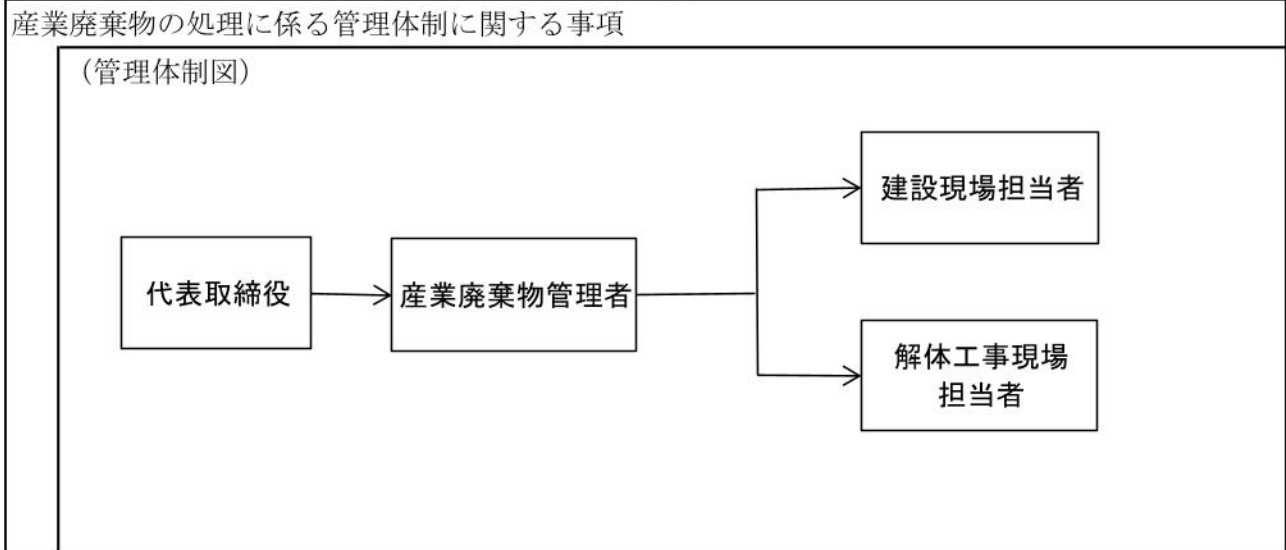


様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 4 年 6 月 21 日	
静岡県知事	
川勝 平太 殿	
提出者	
住 所	浜松市東区小池町2480
氏 名	株式会社 ケンショウ建設 代表取締役 井上憲市
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号	053-589-5331
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社 ケンショウ建設
事業場の所在地	浜松市東区小池町2480
計 画 期 間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	令和3年度工事完工高246百万円
③ 従業員数	8人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>建設工事</p> <p>瓦礫類→再生処理業者に委託し再生資材として再資源化。                  木くず→再生処理業者に委託し再生資材として再資源化。                  ガラスくず類→中間処理業者に委託して選別し埋立処分、                  廃石膏ボードは認定処理施設で処理。                  廃プラスチック類 →中間処理業者に委託して選別し燃料等として再資源化。                  混合廃棄物 →中間処理業に委託して選別し再資源可能類は再資源化し、その他の物は埋立処分。</p>

（日本産業規格 A列4番）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙1の通り	
	排 出 量_	t	t
	(これまでに実施した取組) 個々の施工現場の特性を着手前に把握し、部材の分別を徹底し可能な限り再資源化を図る。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙1の通り	
	排 出 量_	t	t
	(今後実施する予定の取組) 受注産業である為、年間排出計画と実績値に相違が出るが、工事受注時に工事計画及び施工段階においても工法の検討を実施し更なる分別・仕分けし再資源化の向上を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 個々の施工現場の状況を把握し廃棄物品目別に分別している。 (がれき類、木くず、廃プラスチック類、金属類、ガラス陶器類等)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 施工現場の現状把握を継続して実施すると共に常に工法、分別状況の見直しをして改善する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 取り組みの予定なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 取り組みの予定なし。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 取り組みの予定なし。			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 取り組みの予定なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 取り組みの予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の適正処理に関する知識の向上を図るため研修機関等の講習、社内教育の実施を行っている。 委託先処理業者への現地確認を実施し契約している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の1通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>社員及び現場作業員等の教育の充実を図り、分別・仕分けを徹底し再資源化を図り最終処分量の削減を図る。</p> <p>再生利用の困難な廃棄物に関しては優良認定処理業者に委託する。</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じた事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

じ  
と  
中  
間  
量  
行  
収  
あ  
へ  
と  
の  
入



合計
1191.85t
.00t
.00t
.00t
.00t
.00t
.00t
.00t
.00t
1191.85t
64.95t
1002.15t
.00t
.00t
1411.00t
.00t
.00t
.00t
.00t
.00t
.00t
.00t
.00t
.00t
1411.00t
179.00t
1190.00t
.00t
.00t